

定例部長会議開催結果 概要

●日時	令和6年4月1日（月） 午後2時30分から午後3時40分まで			
●場所	3A会議室			
●出席者	■は出席（代理出席は○）			
	■ 市長	■ 内田副市長	■ 高橋副市長	■ 教育長
	■ 政策部長	■ 総務部長	■ 税務担当部長	■ 暮らし安心部長
	■ 文化スポーツ部長	■ 福祉部長	■ こども健康部長	■ 環境産業部長
	■ はだの魅力づくり担当部長	■ 都市部長	■ 建設部長	■ 上下水道局長
■ 教育部長	■ 消防長			
	進行：副市長 事務局：総合政策課長、総合政策課課長代理（政策調整担当）、担当 陪席：秘書課長			
●会議	1 市長あいさつ			
	2 報告事項			
	(1) 「救急医療支援システム」の本格導入について			[消防管理課]
	(2) 工事請負契約の締結について			[契約検査課・水道施設課]
	(3) 市制施行70周年記念事業のテーマ、ロゴマーク、実施計画（当初版）について			[総合政策課]
	(4) 繰越事業について			[財政課]
	(5) 通年での軽装勤務の実施について			[人事課]
	(6) 秦野市バイオマス産業都市構想（案）について			[環境共生課]
(7) 土地利用委員会調整部会の審議案件について			[開発指導課]	
	3 その他			
●会議概要				
1 市長あいさつ	<ul style="list-style-type: none"> 先月26日に閉会した第1回定例会では、予算をはじめとするすべての提出議案が原案どおり可決された。予算編成から議会終了までの長期にわたる職員の努力に感謝する。 令和6年度当初予算に基づき、これまでの6年間で新たな成長の種をまいてきた様々な取組が、実りある成果として、市民にも実感してもらえそうな一年にしたい。 元日に発生した能登半島地震からちょうど3か月が経過したが、未だ断水が続いている地域があるなど、復旧・復興の道のりは長いものとなる。 首都直下地震の切迫性が指摘される中、今回の地震を自分事として捉え、市民の安全・安心のため、市民総ぐるみの防災・減災対策、地域コミュニティの充実・強化に取り組んでいきたい。 4年にわたるコロナ禍を乗り越え、社会経済活動が本格化する中、令和8年度の県道705号拡幅整備後を見据えた「秦野駅北口周辺のまちづくり」、令和9年度の新東名全線開通を見据えた「秦野丹沢スマートインターチェンジ周辺のまちづくり」を進め、地域の賑わいを引き出しながら、安全・安心につながるインフラ整備や改正企業立地条例により企業誘致の促進に取り組んでいく。 			

- ・また、産後ケア事業や公立児童ホーム、こども医療費助成など、市独自の施策も積極的に展開しながら、「妊娠・出産から、子どもたちが社会にはばたくまで」切れ目ない支援の充実・強化に取り組み、「女性と子どもが住みやすいまちづくり」を推進する。
- ・こうしたハード・ソフト両面から様々な取組を着実に進めながら、引き続き、「表丹沢の魅力づくり」と「小田急線4駅周辺のにぎわい創造」を軸とした、移住・定住人口の増加につながる施策を展開し、魅力あふれる「全国屈指の森林観光都市」の具現化を進めていきたい。
- ・今こそ、財政健全化を堅持しつつ、将来を見据えた投資をすべき時だと判断している。
- ・このほかにも、「カーボンニュートラルのまちづくり」や「デジタル化の推進」、「地域の魅力を高める広域行政の推進」なども、積極果敢に挑戦していきたい。
- ・そして、来年1月1日の市制施行70周年に向け、記念事業を一部実施するなど、「ふるさと秦野」への誇りと愛着がより一層深まるよう、市民と一体となって、この節目の年を盛り上げていきたいと思う。
- ・4月18日から行う「重要施策ヒアリング」は、これらの重点施策だけでなく、市政全般にわたり、今後の政策の方向性を明確にするための大事なヒアリングである。
- ・部局内はもちろんのこと、関係部局とも徹底的に議論し、具体的な目標をもって、それぞれの方針をしっかりと見定め、一年間の取組を明確にする決意を表明してもらいたい。
- ・新年度早々に調整が大変かと思うが、部局長の強いリーダーシップのもと、秦野市のさらなる発展のため、重要施策ヒアリングを皮切りに、様々な議論をしていきたいと思う。
- ・4月1日付けの人事異動は525名で、性別を問わず、若手からベテランまで、それぞれの職員の性格・能力・実績をしっかりと見極め、職員一人一人の力を最大限引き出し、組織を活性化させることができる人事配置を、基本的な考え方とした。
- ・職員一人ひとりのモチベーションを高め、持てる能力を最大限発揮できる職場環境づくり、人材育成は、部局長にとって大切な仕事である。
- ・まちづくりへの課題が、年々複雑化・多様化する中で、主体的に考え、行動できる職員を育成していくことは、市役所にとって、とても重要なことであるため、常日頃、職員への助言、指導、監督のほか、コミュニケーションを密にしていきたい。
- ・特に、新採用職員は、まずは職場に慣れていただくことが肝要であり、市職員としての心構えや仕事に臨む姿勢を身に付け、能力を最大限引き出せるか否かは、最初の職場の双肩にかかっているため、折に触れての目配せをお願いしたい。
- ・年度切り替えの時期だが、手続がおろそかにならないよう、十分注意しながら、事務を進めてもらいたい。

・また、業務の執行、職責をまっとうするためには、心と体が健康であることが最も重要であるため、日頃から健康管理には十分留意し、支えてくれる家族を大切にしながら、職務にまい進してもらいたい。

2 報告事項

- (1) 「救急医療支援システム」の本格導入について [消防管理課]

【説明】資料に基づいて説明

【意見・質疑】

問. 11 頁の項番 5、運用の課題に「情報共有医療機関の拡充」とあるが、拡充の可能性としては、どのような医療機関が考えられるか。

答. 現在、東海大学医学部附属病院に依頼をしているところである。

問. 足柄上病院のようなところはどうか。

答. 搬送するケースが少ないこともあり、今後検討して、増やしていきたいと考えている。

- (2) 工事請負契約の締結について [契約検査課・水道施設課]

【説明】資料に基づいて説明

【意見・質疑】なし

- (3) 市制施行 70 周年記念事業のテーマ、ロゴマーク、実施計画（当初版）について [総合政策課]

【説明】資料に基づいて説明

【意見・質疑】なし

- (4) 繰越事業について [財政課]

【説明】資料に基づいて説明

【意見・質疑】なし

- (5) 通年での軽装勤務の実施について [人事課]

【説明】資料に基づいて説明

【意見・質疑】なし

- (6) 秦野市バイオマス産業都市構想（案）について [環境共生課]

【説明】資料に基づいて説明

【意見・質疑】なし

- (7) 土地利用委員会調整部会の審議案件について [開発指導課]

【説明】資料に基づいて説明

【意見・質疑】なし

3 その他